

「情報公開文書」

単施設研究用

研究課題名：当科における胃癌手術成績の検討

1. 研究の対象

2012 年 3 月～2023 年 3 月に当院で胃がんの手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

【背景】

胃癌に対する鏡視下手術は急速に発展しており、早期胃癌に対してはガイドライン上も日常診療の選択肢のひとつと位置付けられています。当科では原則として cT2N(+)までを対象に腹腔鏡下胃切除術を施行していますが、2020 年 8 月からはロボット支援下胃切除術を導入し、上記症例を中心に低侵襲胃癌手術を提供しています。

【目的および方法】

2012 年 1 月から 2023 年 3 月までに当科にて根治切除を施行した胃癌症例（残胃癌と重複癌を除く）に関して、患者背景（進行度等）、短期成績（手術時間や術後在院日数等）および長期成績（生存期間、無再発生存期間等）を後方視的に集積し評価します。また上記指標を手術アプローチ（開腹、腹腔鏡、ロボット支援下）毎に比較することで低侵襲胃癌診療の成績を明らかにすることを目的とします。前述の通り、本研究は既存および今後の通常診療によって得られるデータのみを用いた観察研究です。

3. 研究期間

2012 年 1 月から 2023 年 3 月までに当院で胃がんの手術を受けられた方を対象に、最終症例が術後 3 年を迎える 2026 年 3 月まで予後データを集積する。

4. 研究開始の予定日（研究のために情報を利用開始する予定日）

2024 年 10 月 30 日

5. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：手術時間、術後在院日数、胃がんの進行度、術後補助化学療法施行の有無、再発の有無等

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

公開日:2024 年 10 月 16 日

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県立がんセンター治験・臨床研究管理室 倫理審査委員会担当

〒981 - 1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山 47 の 1

TEL 022-384-3151（代表）（内線 974）

研究責任者：

宮城県立がんセンター消化器外科 土屋 堯裕